

＜対策のポイント＞

農林水産省の政策をより効果の高いものに改善していくため、ロジックモデルの構築や必要な効果分析等を実施して知見の蓄積を図り、合理的根拠に基づく施策の立案（EBPM）を推進する。

＜政策目標＞

○調査結果を農林水産政策の改善等に活用

＜事業の内容＞

1.ロジックモデルのブラッシュアップ支援

対象事業について、現状把握・課題設定を適切に行い、インプットからアウトカム、インパクトに至る道筋を、矛盾や飛躍がないように整理するなど、ロジックモデルのブラッシュアップを支援します。

2.効果分析の実施

対象事業の効果について、既存データの活用又は新たなデータの収集・整理を行い、統計的な手法等を用いて分析を実施します。

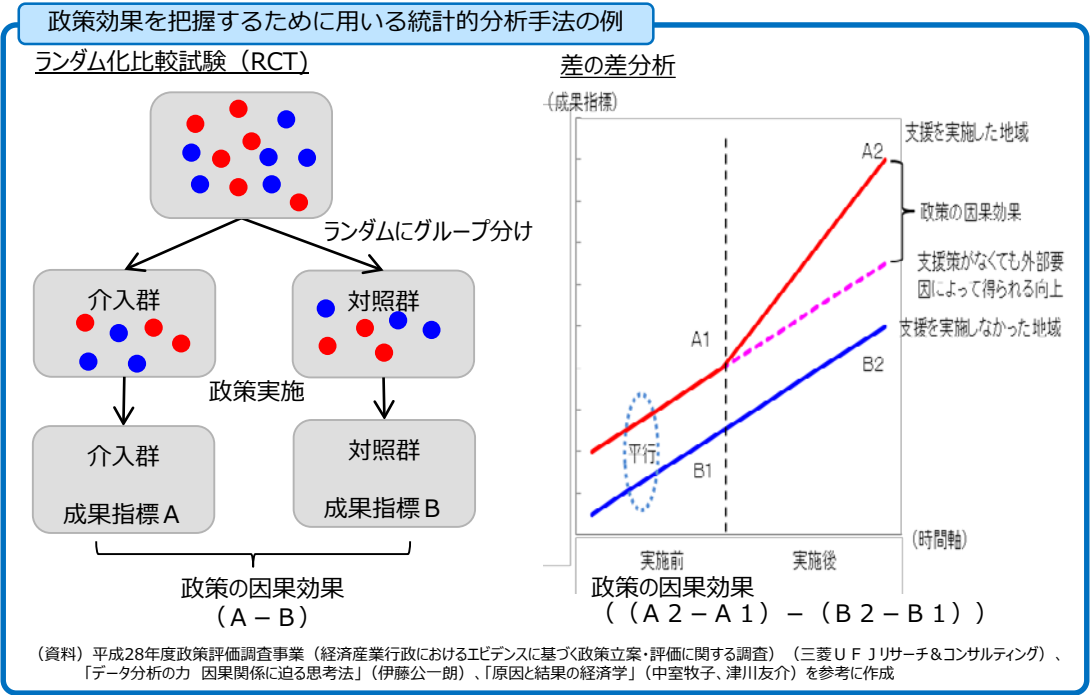
3.報告書の作成

上記の1、2の結果を踏まえ、報告書（調査の手順、分析の手法及び結果、事業の改善に関する提案等）を作成します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞



調査結果を農林水産政策の改善等に活用